

上肢経路CVポートの適切なカテーテル先端位置に関する検討

1. 研究の対象

2018年7月1日～2021年3月31日の期間に当院で中心静脈ポート留置(リザーバー)を受けられた方

2. 研究目的・方法

中心静脈 (CV) カテーテルは中心静脈栄養のみならず化学療法時にも使用され、皮下埋め込みポートシステム (CVポート) が広く用いられています。化学療法を完遂する為にCVポートカテーテル関連トラブルは避けられるべきであります。CVポート留置後、留置側上肢の動きに伴いカテーテル先端位置が移動する症例が知られていますが、2020年時点で最適なカテーテル先端位置や留置法に関する統一見解はないです

本研究の目的はカテーテル先端位置の上肢位による変化を定量的評価しその原因を探り、最適な留置方法を提案することです。

対象は2018年7月1日～2021年3月31日に放射線科IVR医が血管造影室で留置した症例を後方視的に検討します。血管造影室で留置直後に仰臥位で留置側上肢を受動的に運動させてカテーテルの移動がないかを確認していますがその時に撮像した画像データを再度収集して研究を実施する事と致しました。

研究期間：倫理委員会承認日～2022年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・血管造影時の画像
- ・一週間後の画像
- ・患者背景 (性別, 年齢)
- ・ポートやカテーテルの種類

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学医学部附属病院 放射線医学教室

高知県南国市岡豊町小蓮 電話088-880-2367 FAX088-880-2368

研究責任者：高知大学医学部附属病院 放射線医学 山西伴明

-----以上